

平成 17 年 7 月 11 日

各 位

ロート製薬株式会社
アルフレッサ ファーマ株式会社

ロート製薬とアルフレッサ ファーマは インフルエンザウイルス抗原の迅速診断検査試薬の 販売契約を締結しました

ロート製薬株式会社(以下「ロート製薬」とアルフレッサ ファーマ株式会社(以下「アルフレッサ ファーマ」)は、ロート製薬が開発・製造する体外診断用医薬品であるインフルエンザウイルス抗原の迅速診断検査試薬をアルフレッサ ファーマが販売する取引契約を締結し、現在、承認申請等、冬季シーズンへの上市に向けた検討を押し進めておりますので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 販売契約締結に至った経緯

ロート製薬は、平成 5 年に上市した妊娠検査薬ドゥーテストシリーズをはじめとして、排卵日検査薬、精液検査試薬など、簡便に試験結果が判定できる優れた特性を持ったイムノクロマト法の技術を応用した各種検査薬を開発してきております。新しくロート製薬が開発したインフルエンザウイルス抗原の検査薬は、このイムノクロマト技術を応用したものであり、入院患者さんのすぐ側で、簡便にしかも迅速な検査が可能となった検査試薬です。

一方、アルフレッサ ファーマは、アルフレッサ ホールディングス株式会社の完全子会社として、医薬品等製造事業を行っており、医薬品、診断薬、医療機器の 3 分野にわたる幅広い商品を製造・販売する医療メーカーです。診断薬部門においては、生化学検査用試薬や免疫学検査用試薬をはじめ、入院患者さんのベッドサイドや病院の外来、診療所などで素早く検査ができる迅速診断検査薬(POCT: Point Of Care Testing、簡易迅速診断キット)を提供しております。

今回の締結は、ロート製薬の技術とアルフレッサ ファーマの販売力を結びつけ、インフルエンザ検査試薬の市場において確固たる地位を占めていきたい、とする両社の戦略が一致したものです。

2. インフルエンザウイルス抗原の迅速診断検査試薬について

インフルエンザウイルス抗原迅速診断検査試薬とは、冬季に流行する呼吸器感染症の一つであるインフルエンザウイルス感染症患者に対し、外来・ベッドサイドなどの患者のすぐそばで迅速に検査を行なう検査試薬です。患者から採取した鼻腔ぬぐい液または鼻腔吸引液中に存在するインフルエンザ A ウイルスまたはインフルエンザ B ウイルスの核タンパクを認識する特異性の高いモノクローナル抗体を用い、抗原抗体反応の原理を利用してインフルエンザ A ウイルスまたはインフルエンザ B ウイルスの検出を行ないます。

3. 今後の展開

アルフレッサ ファーマは、診断薬部門のみならず、医薬品、医療機器の各部門と連携し、呼吸器感染症領域でのPOCT市場の拡大に取り組んでおり、現在、小児科、内科、耳鼻科、産婦人科を中心に多くの診療現場で販売を行っています。また、グループ卸の販売力によるシナジー効果により、開業医市場への販売活動を効率よく展開することで市場拡大しております。

今回、ロート製薬が開発・製造する製品を、アルフレッサグループにおける重要製品のひとつと位置付け、その販売活動を通じて医療現場での早期診断・早期治療に貢献してまいります。

4. 販売目標額

発売初年度 6億 5,000 万円を目標としており、早期に 10 億円を目指す予定です。

なお、ロート製薬並びにアルフレッサ ファーマの概要は下記の通りです。

□ ロート製薬株式会社の概要

設立年月:1949年9月

本社所在地:大阪市生野区巽西一丁目8番1号

代表者:代表取締役社長 山田 邦雄

売上高:73,331 百万円(2005年3月期、連結)

従業員数:2,103名(2005年3月末現在、連結)

事業内容:医薬品、医薬部外品、化粧品等の製造販売および輸出入など

□ アルフレッサ ファーマ株式会社の概要

設立年月:1939年12月

本社所在地:大阪市中央区石町二丁目2番9号

代表者:代表取締役社長 久禮 哲郎

売上高:20,881 百万円(2005年3月期、連結)

従業員数:637名(2005年3月末現在、連結)

事業内容:医薬品、診断薬、医療機器、医薬品原材料等の製造・輸出入・販売

売上高は、アルフレッサ ホールディングス株式会社(連結)における医薬品等製造事業の数値です。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

ロート製薬株式会社

広報調査室 采女(うねめ)正明 電話 06-6758-1211 FAX 06-6757-5155

アルフレッサ ファーマ株式会社

経営企画部 吉村裕之 電話 06-6941-0383 FAX 06-6947-1548